

第 122 号
2025 年 (令和 7 年)
11 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次	特集……………	2
	決算特別委員会……	4
	採決の結果……………	6
	主な議案……………	7
	一般質問……………	8
	議会のうごき……………	10
	アンケート中間報告…	11
	編集後記……………	12

特集

元気な海を
取り戻したい



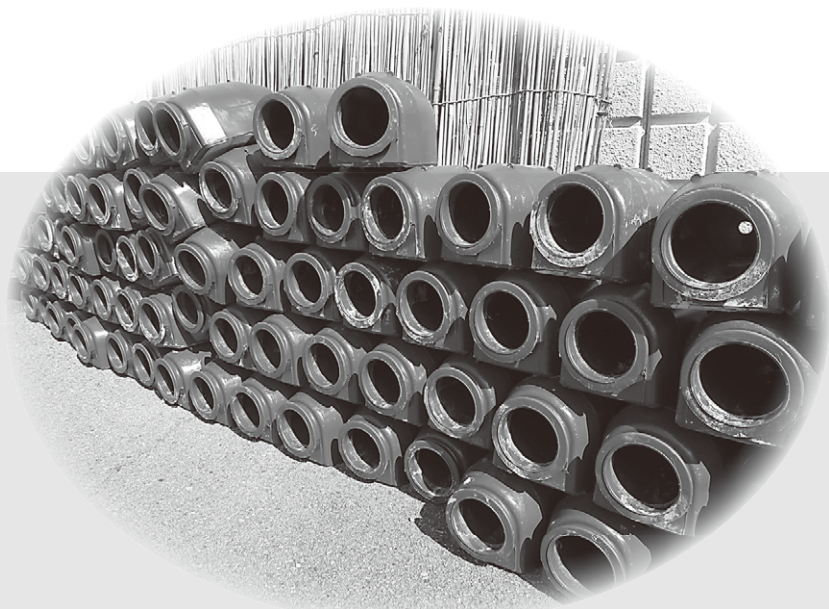
▲ 鯛網の様子



特集

宇野議員・村上議員が聞く

芸南漁業協同組合



▲たこつぼ



芸南漁協で主に漁獲されている魚種や水産物にはどのようなものがあり、漁獲量や販売収入等はどのように推移していますか

芸南漁協では、真鯛を中心にチヌ、キジハタ、タモリ、オコゼ、ヒラメ、エビ類など多彩な魚種が水揚げされています。漁獲は年ごとの天候に左右され、エビ類は雨が多い年に豊漁、少ない年は不漁となります。今年は真鯛やキジハタ・タモリなどが好調でした。

一方、ヒラメやアナゴは大きく減少し、かつては1日15〜20kgあった水揚げが、今では数枚程度にとどまっています。

資源を守るため、広島県漁業振興基金では年間約27万匹の真鯛をはじめ、キジハタやオコゼの育成・放流を行っており、この取組が安定した漁獲、資源維持に一定の成果をあげています。



◀海ぶどう



芸南漁業協同組合
福本 悟さん

Q 現在の組合員数について教えてください

准組合員を含む総数は35名(准組合員9名、正組合員26名)。牡蠣業は若手や外国人労働者も多いが、魚類業は高齢化しており、50代から70代が多いです。

今後「20人」を切らないよう、若い人材も含め人数を増やしていきたいです。

Q 海水温の上昇や藻場の減少など、漁場環境の変化をどのように感じていますか

近年、環境変化の影響は非常に大きいと感じています。

特に、水温は昔より高くなっており、わずか1〜2度の違いで魚卵が孵化しなかったり、稚魚が育たなかったりするなど、海の生態系に深刻な影響を及ぼしています。

今年は一部で藻場が復活し、回復の兆しも見られましたが、海全体としては栄養源が減少し、「痩せた海」になってきています。

その背景には、山から流れ込む水が極端に浄化されていることや、排水の影響でプランクトンが十分に育たなくなっていることが考えられ、強い懸念を抱いています。

Q 市民や子どもたちに漁業や海の魅力を知ってもらうために、どのように取り組んでいますか

毎年、忠海学園の5年生を対象に、漁業や海ぶどうを学ぶ体験学習を行っています。

今後は郷土産業振興館など地域の施設とも連携し、市内の子どもたちに魚のさばき方や料理教室などを体験していただいて、子どもたちに海や漁業に親しみを持ってもらえるよう取り組んでいきたいです。



▲竹原市近郊で獲れた鮮魚

Q 竹原市への要望はありますか

来年は飼料代のさらなる高騰が見込まれており、他の市町では助成金を増額する動きもあります。竹原市へ、そうした動きに合わせた支援を要望したいです。

また、何よりも、市民の皆さまに地元の海の幸をおいしく食べていただくことが漁業者の励みとなり、漁業を支える大きな力になります。

皆さまに食べていただくことが私たちのやりがいとなり、漁業を守り続ける力になります。ぜひ、魚を食べて応援してください。



▲芸南漁業協同組合

決算特別委員会委員長 山元 経穂 副委員長 川本 円

④ 小中学校の施設維持管理について

Q 児童・生徒の安心・安全、生命に係る大規模改修や修繕のみならず、長時間学校で過ごす子どもたちのためにも、より細やかな修繕による環境整備が必要では。

A 学校は地域コミュニティ、防災、生活の場として多様な観点で捉えていること、また今後適正配置による変動はあるが、基本的には社会教育施設との位置付けとして残ること等から、財源の問題もあるが、安心・安全のためにも優先順位を定めて、修繕に取り組んでまいります。



⑤ 給食費の補助について

Q 令和8年度、補助の継続は。

A 令和6年度25円、令和7年度も35円上乗せを行っていますが、財源が国からの地方創生臨時交付金であるため、令和8年度も国の動向を注視しつつ、対応してまいります。



以上のような総括審査に加え、部毎の集中審査における質疑を踏まえた上で、当委員会に付託された2議案につきまして討論を経て採決を行った結果、両議案を原案のとおり認定すべきものと決しました。

■歳入歳出決算認定について（議案第44号）

会 計 名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	18,988,733,117円	17,224,232,247円	16,760,161,147円
国民健康保険特別会計	3,083,344,000円	2,930,131,537円	2,927,913,314円
貸付資金特別会計	5,548,000円	5,022,573円	5,022,573円
港湾事業特別会計	67,632,000円	58,556,243円	39,718,375円
公共用地先行取得事業特別会計	117,891,000円	117,889,999円	117,889,999円
介護保険特別会計	3,506,733,000円	3,428,090,553円	3,386,240,199円
後期高齢者医療特別会計	575,490,000円	573,600,536円	572,516,077円

■下水道事業決算認定について（議案第45号）

区 分	収入決算額	支出決算額
収益的収入および支出	632,457,106円	580,180,768円
資本的収入および支出	735,064,169円	1,226,091,667円

資本的収入額（翌年度繰越財源を除く）が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填した。

※令和6年度決算の概況は、広報たけはら12月号でも公表されます。

令和6年度決算 賛成多数で認定！

当委員会に付託されました、議案第44号「令和6年度竹原市歳入歳出決算認定について」、議案第45号「令和6年度竹原市下水道事業決算認定について」、以上の2議案につきまして総務部、企画部、市民福祉部、建設部、教育委員会、行政委員会と部署ごとに関係事務の集中審査を行った後、最後に市長の臨席により総括審査を行い、計5回にわたる審査を締めくくりました。

●審査スケジュール

9/2	正副委員長互選 日程・資料請求
9/16	集中審査 総務部・企画部
9/17	集中審査 市民福祉部
9/18	集中審査 教育委員会・建設部
9/22	総括審査・討論・採決

総括審査の様子は動画で見ることができます！



① 滞納問題について

Q 一般・特別会計を合算すると約1億8,000万円の税金等による滞納が計上されている。滞納者と納税者に税の公正・公平性を欠く問題を生じさせているが、市の認識は。

A 市としては問題であると認識しており、職員の徴収研修、納税相談、庁内横断で滞納問題に対応する債権確保対策委員会における協議、差し押さえ等の取組により、継続して徴収に努めることで、税の公正・公平性を担保してまいります。



② 本市財政の今後について

Q 人口減少、人件費及び物件費が増加し、地方債残高も同様の傾向にある中で本市財政に関して、今後の見通しは。

A 国・県の補助金、交付金等の有利な財源を活用するとともに、事務事業の見直し、歳入の確保に取り組むことで、持続可能で効率的な行財政運営を図ってまいります。



③ 重層的支援体制(地域まろごと支えあい体制)の整備について

Q この事業の累計総額並びに負担額、事業効果、幅広い本事業における各機関の連携については。

A 当事業の累計総額は約1億5,000万円となり、負担額は国が約6,700万円、県が約3,000万円、市が約5,500万円となります。事業効果は、事業開始後相談件数が126件と開始前より格段に増加しており、また各機関との連携については、市と社会福祉協議会を中核に社会福祉法人等、多機関と協働、連携出来る体制を構築しており、今後とも体制の維持、強化を図り、社会福祉の向上を推進することに努めてまいります。



●令和7年第3回定例会 議案概要・採決結果

令和7年9月2日～令和7年9月25日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	平井	村上	蕎麦田	下垣内	今田	山元	高重	堀越	川本	大川	道法	吉田	宇野	松本	議決結果
報告第9号	令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
報告第10号	損害賠償額の決定について	接触事故について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
議案第39号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員中 山登純子 委員は、令和7年12月31日をもって任期満了につき、その後任委員を推薦しようとするもの（山登純子氏）	省略	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
議案第40号	竹原市立学校設置条例の一部を改正する条例案	竹原市立大乘小学校を廃止することに伴い、必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第41号	竹原市職員の育児休業等に関する条例及び竹原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部が改正されたことに伴い、育児部分休業の取得形態を拡充するとともに、仕事と育児の両立支援について、制度の周知や利用の意向確認を行うなど、必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	竹原市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例案	市営住宅長寿命化計画において用途廃止の方針が決定している市営住宅のうち、全入居者の移転が完了した東川住宅、西ヶ迫住宅、天神町住宅、登町住宅及び柏住宅について、用途を廃止するもの	民生都市建設	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例案	地方自治法施行令の一部が改正されたことに伴い、条例中における引用条項の整理を行うもの	総務文教	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	令和6年度竹原市歳入歳出決算認定について	地方自治法第233条第3項の規定により、令和6年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの	決算	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	×	×	原案認定
議案第45号	令和6年度竹原市下水道事業決算認定について	地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和6年度竹原市下水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	原案認定
議案第46号	令和7年度竹原市一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ108,228千円を増額補正するもの	総務文教	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	令和7年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ5,279千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	令和7年度竹原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ35,994千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	令和7年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ7,150千円を増額補正するもの	民生都市建設	○	○	○	○	欠席	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳受第7-18号	忠海団地が所有する汚水処理施設の移管要望について	竹原市議会会議規則第145条の規定により陳情を処理するもの	民生都市建設	委員会審査の結果、継続審査とすることとなりました。														
発議第7-5号	地方財政の充実・強化に関する意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	○	原案可決

… 主 な 議 案 …

議案第42号 竹原市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例案

- ・ 内 容／竹原市市営住宅長寿命化計画において、用途廃止の方針が決定している市営住宅のうち、全入居者の移転が完了した東川住宅、西ヶ迫住宅、天神町住宅、登町住宅及び柏住宅について、用途を廃止するもの。
- ・ 質 疑／廃止する市営住宅の跡地利用を今後、どのように取り組むのか。
- ・ 答 弁／まずは計画的な解体を実施し、跡地については有効活用等に努め、本市の活性化に取り組む。

議案第46号 令和7年度竹原市一般会計補正予算（第4号）**●大久野島訪問税導入検討事業**

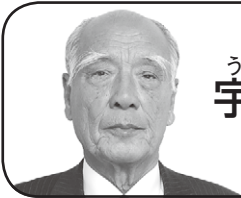
- ・ 内 容／大久野島における観光のあり方について、竹原市や国をはじめ観光関連事業者やその他関係者などが各種課題を共有し、その解決策を計画的に実行するための安定的な財源確保を図るため、大久野島訪問税導入検討委員会を設置し、訪問税の導入について検討を行うもの。
- ・ 質 疑／大久野島訪問税の検討委員会設置の目的・使途・諮問内容の明確化について、具体的に教えていただきたい。
- ・ 答 弁／大久野島の訪問税検討委員会設置の目的は、多くの人々が平和学習のために訪れる大久野島の過去の遺産が風化している現状を踏まえ、環境整備の促進と毒ガス関連遺跡の適切な管理保全を図ることと、観光客増加に伴うインフラの課題解消、そして、これらの財源確保を検討することとしている。市としては、法的拘束力の強い訪問税導入を目指し、課税客体や使途について協議していく方針である。



※訂正

前回の第121号において、5ページ主な議案の議案第29号の答弁の表記に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 今井正之顕彰施設
(正) 今井政之顕彰施設



たけのり
武則
の
う
野
宇

- 財政健全化について
- 一般社団法人竹原観光まちづくり機構の令和6年体制について
- たけはら合同ビル大規模改修工事に伴う設計等業務委託について
- （旧）ゆめタウン財産取得について



- 質問** 入札参加業者6社中5社は、市発表の最低制限価格で抽選、村田相互設計が落札、1社は千円オーバーで失格。昨今の人件費・物価高騰の中、なぜ制限価格なのか理解出来ないが。
- 答弁** 市長 最低制限価格の算定率及び算定方法を公表することによって業者の競争性が働き、5社が同額となったものです。
- 質問** 村田相互設計から2回の設計変更があり、合計1306万200円が増額されている。
- 答弁** 市長 浸水対策の検討を行い、防災機能を中心に対応したものです。
- 質問** 竹原合同ビル改修工事、安藤・間企業体においても最低制限価格26億4776万円で落札されたが、その後増額変更されている。入札が2社となった理由と最低制限価格公表は公正な入札に問題は。建設業法、市の条例適用を厳正に見直すべきでは。
- 答弁** 市長 市内業者に係る育成の観点、受注機会の拡大を図るため、市内業者を構成員に加えるJV方式を採用したものです。
- 質問** 庁舎改修工事2社の3年間の工事実績は。
- 答弁** 市長 令和3年から5年までの実績は、安藤・間企業体は合計3443億3600万円、一方の浅沼企業体の合計は65億1400万円です。
- 質問** 工事実績に大きく差があるが、業者公募時に多くの業者が参加出来る方向に改善すべきでは。
- 答弁** 市長 今後も公平性・透明性を図りながら、市内業者の受注拡大に努めてまいります。
- 質問** （旧）ゆめタウン駐車場用地4筆の取得費は1億1789万円。（旧）かつはらは築35年、店舗閉店令和5年1月、土地取得費909万円、建物取得費2180万円、鑑定会社は。
- 答弁** 市長（株）中央鑑定所です。
- 質問** （旧）かつはら解体費約2千万円は市が支出と発表されたが、公金の公平・公正な執行からも前例のない行為、法的に問題はないのか。
- 答弁** 市長 誰が所有かに関わらず、必要な事業と認識しております。



いまだ
今田
よしお
佳男

- 学校の猛暑への対策について
- 観光政策について
- 関係人口の活用について



- 質問** 学校のプールに代えて、民間施設を利用する考えはないですか。
- 答弁** 教育長 民間プールを活用した水泳授業につきましては、教員の働き方改革を推進する観点などから、全国的に増加していることは承知しており、今後は財政面も踏まえて、活用について検討してまいります。
- 質問** 避難所に指定されている学校体育館には空調設備を早急に整備すべきと考えますが。
- 答弁** 教育長 避難所に指定されている学校体育館の空調設備の整備は、喫緊の課題であると考えています。学校体育館の将来的な配置の在り方等について、方向性を整理するとともに、財源確保や整備する際の空調の熱源方式の検討も含めて、中長期的な視点を持ち、計画的に進める必要があると考えています。
- 質問** 今後の観光政策をどのように取り組まれようとしていますか。
- 答弁** 市長 データに基づいた戦略的な観光地経営の実現を目指すため、本年7月にデジタルマーケティング
- 戦略計画を策定し、一般社団法人竹原観光まちづくり機構において、必要なデジタルツールを導入することとしています。
- デジタルツールの活用により、観光消費額の増加につなげるとともに、地域の実情に応じた総合的な観光地マネジメントにより、持続可能な観光地域づくりの実現を図ってまいりたいと考えています。
- 質問** たけはらファンになつていただいた方々に、竹原の課題解決にもっと関わっていただく場を設けることが必要と考えますが。
- 答弁** 市長 「たけはらファン」の方々に、本市の行事への参加や課題解決に関わっていただくことは、まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材の確保の観点からも重要であり、また、集合型ではないデジタルを活用した仕組みづくりも有効であると考えています。
- デジタルを活用した仕組みづくりについても、他市町の事例も参考に調査研究してまいりたいと考えています。



おおかわ ひろお
大川 弘雄

●今榮市政の取組と竹原市の将来像について



質問 今榮市政の取組について

答弁 市長 議員各位並びに市民の皆様のご意見をお伺いしながら、本市の住みやすさ、暮らしやすさに磨きをかけ、「元氣と笑顔が織りなす 暮らし誇らし、竹原市。」の実現のため市政を推進し、「人を活かす」、「地域を活かす」、「歴史文化を活かす」、「市民の意見を活かす」をテーマに市政運営をしてまいりました。

新庁舎の整備・移転、DMOの設立、農福連携事業、竹原DX事業の推進、こども家庭センターの設置、地域包括ケアシステムの進化・推進、未来の人材育成、忠海学園及び吉名学園への安全な通学路の確保、本川流域水害対策事業、東野地区浸水対策事業など、竹原市にとって重要な多くの事業の推進に市民の皆様のご理解とご協力のもと、真摯に取り組んでまいりました。

質問 竹原市の将来像について

答弁 市長 中心市街地及び複合施設の整備、忠海港及びその周辺整備、浸水被害

対策事業によるまちの強靱化など本市の課題にチャレンジし、まちの活性化につながる多くの施策の推進に鋭意取り組んでいるところであります。

将来都市像の実現をさらに加速させ、市民と共にこれまで積み上げてきた歩みを止めることなく、次世代を担う方々へ継承し発展させていくためには、たゆまぬ努力と情熱が必要であります。

頼山陽先生の詩にあるように、私自身努力を重ねて先達がつないで来られたように、市民の皆様のために長く残っていくような仕事を成し遂げたいという強い思いがあります。

郷土竹原のため、「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきたい、住んでみたい」と市内外の多くの方々に思っていただけ元気な竹原市の実現に向け引き続き全力で取り組んでまいりたいと考えております。



まつもと すすむ
松本 進

●竹原市のインフラ施設（竹原市中央1・2丁目、雨水・下水道管施設等）の維持管理について

●老朽化の空き家ビル（アイフル通り・旧大沢ビル）の維持管理について



質問 竹原市中央1・2丁目の雨水排水工事は、長さ約360㍎・管径1,000㍎・地下約2〜3㍎に埋設されていますが、維持管理状況はどのようになっていますか。

答弁 市長 この維持管理は、職員がマンホール坑内の目視調査により異常の有無を確認しており、現時点では修繕の必要はないものと認識しています。

質問 2015年3月作成の「中央地区下水道管路施設長寿命化計画策定業務・報告書」に伴う維持管理状況の説明を求めます。

答弁 市長 この長寿命化計画に基づき、管渠や水路の布設替え、老朽化マンホールの更新を実施し、経費は計画策定の平成27年以降、約500万円を支出しています。

質問 竹原都市計画下水道事業の維持管理状況はどのようになっていますか。

答弁 市長 この事業は都市計画決定を受けた平成元年度以降、汚水は令和9年度の完了を目標に、雨水は平成元年度から事業に着手、中央排水区・新たに本川排

水区の浸水対策にも着手したことから、今後10年以上の工事期間を要する見込みです。

維持管理費は老朽化の管渠の補強や更新、流下状況の確認等点検を行い、必要な補修を実施しています。

質問 6月1日、アイフル通りの老朽化ビルからコンクリート破片が落下して危険だと言う地域住民の相談がありました。

市空き家条例の所有者等の責務「自らの責任において適切な管理を行う」とありますが、竹原市の現状把握とその対応はどのようにされていますか。

答弁 市長 所有者に対し、写真により建物の状態・危険性を伝え、周辺への危険防止対策を講じるよう自発的な改善措置を促し、被害発生時の損害賠償責任を問われることを通知しています。

現地の対応は、市道上にカラーコーンを設置、モルタル片の除去など軽微な措置を行い、危険な状態を解消しています。



むらかみ

村上 まゆ子

●いじめ発生時の対応体制について ●「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組について



質問 本市のいじめ初期対応時のやりとりの記録・保存の現状について伺う。

答弁 教育長 本市では、いじめ防止対策推進法「竹原市いじめ防止基本方針」に基づきいじめの認知や早期発見・対応を徹底している。トラブル発生時には、生徒指導主事や担当教員を中心に「いじめ防止委員会」を設置し、児童生徒や保護者との対応、事実関係を記録として残し、委員会議事録とともに5年間保存している。

記録の様式は文科省ガイドラインを踏まえ、各校が効果的なフォーマットや保存の仕組みを整備しているほか、重大事態に備え、生徒指導担当者や管理職への研修を通じ、対応・記録管理の重要性を徹底している。さらに、県が運営するSNSや電話相談窓口を全児童生徒に周知し、市教育委員会も校内掲示等で相談体制を整備しており、今後も心理的安全性を確保しながら、一人一人のSOSを受け止め、学校全体で防止・早期対応を図る体制を構築していく。

質問 「こどもまんなか社会」の実現に向けて、その理念を着実に形にしていけるための制度的・組織的な基盤整備について伺う。

答弁 市長 本市は「こどもまんなか応援サポーター宣言」を契機に児童館や未来創造会議での意見聴取、こども計画策定、複合施設整備への反映などを進め、遊具や図書館の充実、学習スペース整備につなげてきた。今後は意見箱設置やWEB収集、ワークショップ等により子ども・若者が気軽に意見を出せる環境を広げ、アンケート結果の公表や参加者への通知を行うなど「見える化」に努めていく。

子ども・子育て会議については、委員としての参加に加え、別会議やワークショップを通じて参画も検討し、まずは安心して意見を表明できる仕組みを整えていく。庁内では少子化対策推進会議を総合調整の場とし、子ども・若者の声を全庁的に集約し、政策に反映する体制を構築し、既存組織を活用して理念を具体的施策に反映させていきたい。

議会のうごき

8月 6日 議会運営委員会

8月 7日 広島中央環境衛生組合議会
先進地視察（～8日）

8月22日 総務文教委員会

8月27日 議会運営委員会

9月 2日 本会議

決算特別委員会

9月 4日 総務文教委員会

9月 5日 民生都市建設委員会

9月 8日 本会議

9月 9日 本会議

9月12日 議会運営委員会
本会議

9月16日 決算特別委員会

9月17日 決算特別委員会

9月18日 決算特別委員会

9月22日 決算特別委員会
総務文教委員会9月25日 議会運営委員会
本会議

10月 1日 広島県市議会議長会臨時会

10月 9日 愛知県知多市議会来庁

10月14日 民生都市建設委員会

10月20日 議会運営委員会
中国市議会議長会臨時総会10月21日 兵庫県西宮市議会来庁
茨城県水戸市議会来庁10月22日 総務文教委員会行政視察
（～24日）

福岡県嘉麻市議会来庁

アンケート中間報告

9月に配布いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。現在までに982通のご回答をいただいております。多くの皆さまから貴重なご意見をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

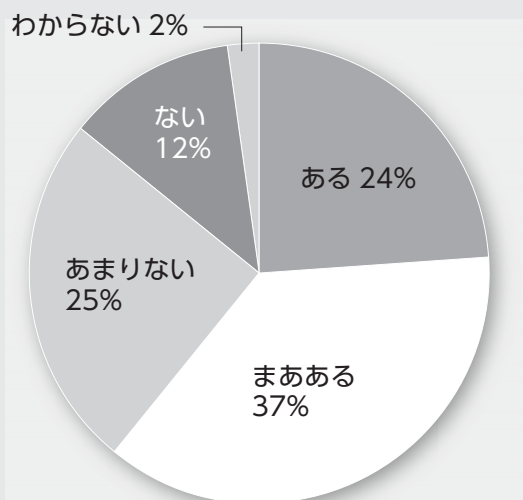
「市議会に関心がありますか」という質問では、6割以上の方が「関心がある」と回答され、市議会への関心の高まりが感じられました。また、「議会だよりを読んだことがありますか」では、約9割の方が「読んだことがある」と答えられ、多くの市民の皆さまに議会活動を身近に感じていただいていることが分かりました。

一方で、「本会議・委員会のタネット放送やインターネット配信を視聴したことがありますか」では、6割以上の方が「視聴したことがない」との結果となりました。今後は、より多くの方に議会の様子を知っていただけるよう、発信方法の工夫や広報の充実に努めてまいります。

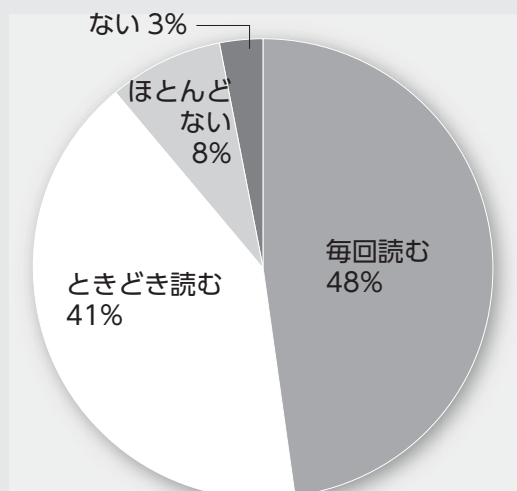
アンケートの最終結果は、2月の議会だよりでお知らせする予定です。今後も市民の皆さまとの“つながる議会”を目指して取り組んでまいります。

**Q****1**

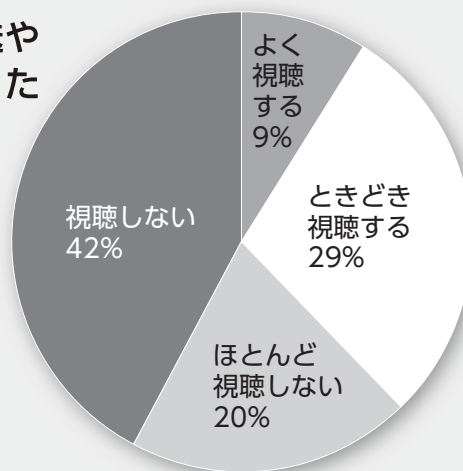
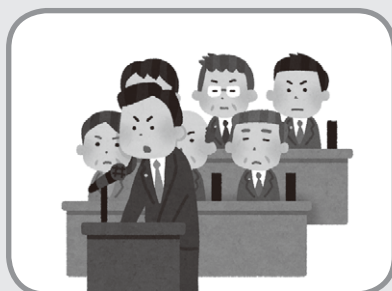
市議会に関心がありますか？

**Q****2**

「議会だより」を読んだことがありますか？

**Q****3**

本会議・委員会のタネット放送やインターネット配信を視聴したことがありますか？



特集

元気な海を
取り戻したい

▲稚魚の放流

《特集後記》

私と（旧）竹原漁業協同組合との関わりのはじまりは、昭和50年であったと思います。

会議の目的は、組合員と一般漁業者との関係の相互理解を深めるため、私の方から申し入れ、相互の役員が出席し、会議が行われたのであります。

昭和52年に竹原地区小型船舶連合会を設立。目的は環境や資源の保護・育成、海上安全運航、会員相互の親睦であります。会員資格は船舶を有する者とし、結成時会員は約80名、翌年には130名、昭和60年代初頭には230名でありました。

平成7年に県指導で芸南漁業協同組合が設立し、当時の組合長の尽力によって、広島県栽培漁業センターが建設され、「取る漁業」から「育てる漁業」への転換が進み、大きな成果をあげています。

近年、竹原港から観光遊漁船で家族やグループでの釣りを楽しむ方が増加傾向にあり、農林水産への行政の積極的関与が求められるのではないかと思います。

宇野 武則

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。

市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube^{JP}

竹原市議会

検索



次回定例会市議会は、11月下旬からの予定です。
みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

今回の定例会では「大久野島訪問税導入検討事業」が示されました。今年は戦後80年という節目の年であり、私たちは再び戦争を繰り返してはならないこと、そして、過去の歴史を風化させてはならないことを改めて胸に刻む必要があります。

大久野島は、竹原市にとって毒ガス関連遺跡という重い歴史を背負った、決して失ってはならない大切な場所です。

今回の訪問税の検討は、環境整備の促進や毒ガス関連遺跡の管理・保全、インフラの課題解消といった取組の財源を確保し、持続可能な保存につなげていくための第一歩と位置づけられています。

大久野島は竹原市に所在しながらも十分な整備が進んでいないという長年の課題を抱えてきました。

訪問税の導入がこうした課題を解決し、未来に歴史を正しく伝えていく大きな力になることを期待しています。

村上 まゆ子

「広報広聴委員」◎委員長◎副委員長

◎村上まゆ子 ◎今田 佳男

蕎麦田俊夫 堀越 賢二

宇野 武則 松本 進